

## 「第2期高松市スポーツ推進計画（案）」についてのパブリックコメント実施結果

本市では、令和6年1月5日から1月26日までの期間、「第2期高松市スポーツ推進計画（案）」についてのパブリックコメントを実施しました。いただきました御意見の要旨及びそれに対する本市の考え方を、次のとおりまとめましたので、公表いたします。

- 1 意見総数 1件（1人）
- 2 いただいた御意見の要旨及びそれに対する本市の考え方

内容	御意見（要旨）	市の考え方
フルマラソン大会実施の検討について	<p>「スポーツ大会等を活用したシティプロモーションにおいて、交通規制などの課題もありますが、更なる交流人口の拡大や地域活性化なども見込まれることから、フルマラソン大会の実施について、検討します。」</p> <p>の記載がある箇所について、『高松マラソン』（フルマラソン）の開催を期待しています。</p> <p>フルマラソンを開催する場合は、現在開催している庵治マラソンやトライアスロン大会は、見直しや統合する形とするのがよいと思います。</p> <p>（理由）</p> <p>西日本で、県庁所在地がある都市で開催がないのが、香川県高松市以外では、広島市、山口市、和歌山市、長崎市（2025年開催予定）のみである。広島は都道府県対抗駅伝、山口県は防府読売マラソンといった大規模な大会が行われている。</p> <p>交流人口の拡大には、500人規模のトライアスロンより、数千人規模のフルマラソンが明らかに優位性がある。</p> <p>トライアスロンでは、競技人口が限られていること、庵治マラソンは、距離</p>	<p>フルマラソン大会やトライアスロン大会につきましては、全国から、多くの参加者が見込まれることから、更なる交流人口の拡大、また、地域活性化への効果は大きく、本市のシティプロモーションにも資するものと存じております。</p> <p>フルマラソン大会の実施に当たりましては、多額の経費負担や長時間にわたる交通規制に伴う市民生活や事業活動への影響など、課題もありますことから、今後、大会の実施に向け、各関係団体と協議を行う中で、既存のマラソン大会のイベントの見直し等も含め検討してまいります。</p>

フルマラソン大会実施の検討について

がハーフにもみたく、中途半端でエントリーしにくいことや開催時期がすでに主要なフルマラソン開催日と重なったり、他のフルマラソンとの開催日と近すぎるなどの懸念もあると思います。

近県でいうと愛媛マラソンやおかやまマラソンなど、人気の高い大会もあることから、特色ある大会（コース、エイド、開催日、おもてなしなど）を打ち出し、継続していけると愛される高松マラソンが継続できると思います。